



# 学校だより

9月号

令和3年 9月1日  
横浜市立善部小学校  
校長 福田 美穂

## 今一度、力を合わせて

学校長 福田 美穂

今年の夏休み前半は、東京2020オリンピックが開催され、家でじっくり観戦した人が多かったと思います。日本の選手は、無観客ながらそれぞれの競技で練習の成果を発揮して、過去にないメダル数を獲得しました。やっと思ふようなパフォーマンスができ、メダルの色は関係なくうれしいと発する選手もいましたし、練習を積み重ねてきたのに十分に発揮できず残念な結果に終わった選手もいました。結果がどうであれ、選手がインタビューで、自分自身にしっかりと向き合い、目標を定めて取り組んできたことや次の目標を実直に話す姿がとても素敵だと思いました。努力を重ねてきた人が語る言葉は、年齢に関係なく、人の心を動かす力があるものです。さて、子どもたちはどんなふうオリンピックを見ていたのでしょうか。また、今開催しているパラリンピックをどのように見ているのでしょうか。ぜひ話を聞いてみたいと思います。

さて、前半の「観戦」から後半は「感染」の話題で、学校は蝉の声が気にならないくらい慌ただしい夏休みの終わりとなりました。全国の状況と同様、横浜市の新型コロナ感染拡大が予想を上回る勢いで広がっています。8月27日から3日間の学校臨時休業、9月13日までの分散登校、5時間授業という措置を取らなければならないこの状況を、今またみんなで力を合わせて乗り越えていかなければなりません。

昨年度の長期にわたる臨時休業後の経験を活かし、子どもたちの学校生活をできるだけ安全に続けていくことができるよう準備をしてきました。また各ご家庭の協力を得て、オンラインでの健康観察（出欠席カード）の提出を進め、今までとは違った形で、継続しやすい方法に取り組んでいます。

6月末にGIGA開きを行い、iPadの活用になんげづつ慣れてきた教員と子どもたち。さすが現代っ子たちです。文房具として、iPadを抵抗なく使っています。まずは、保護者の方も学校とのオンラインでのやり取りに慌てずに慣れていただくことが大切です。よりよい方法を模索しながら、GIGAスクールを進めていきますのでご協力お願いいたします。



地域の方や保護者の方でインターネットの世界、パソコンの世界を詳しく知っていらっしゃる方は、どうか学校にお力を貸してください。直接来ていただかなくても、お話を伺うだけでも、新しい何か生まれ、善部小学校の子どもたちや教員の刺激になったりよい学習環境づくりができたりすることと思います。

人との距離を置かなければならない今、GIGAを通しての「であい」「ふれあい」「ひびきあい」を考えていきます。これからも、学校教育にご理解とご協力をお願い致します。



← 学校ホームページのQRコードです。